

# カメラだより

## この寄付が命を守る

刈谷市役所(4月28日<sup>ほか</sup>)



新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、市内企業、団体およびスポーツチームなどが市長のもとを訪れ、マスクやアルコール消毒液の寄付を行いました。「マスクやアルコール消毒液が不足しがちな今、こういった寄付はとてもありがたい」と話す市長。寄付を受けたマスクは、障害・介護などの福祉施設、新型コロナウイルスの医療現場で働く人たちへ、アルコール消毒液は、市内の教育機関へ届けられています。

## 今年も変わらず咲き誇る

小堤西池(5月20日)



刈谷市の最北部に位置する小堤西池のカキツバタ群落は、京都府の大田ノ沢、鳥取県岩美町の唐川と並ぶ日本三大カキツバタ自生地の一つで、今年も変わらず、見事な青紫色の花を咲かせていました。刈谷のカキツバタは真っ直ぐ空に伸びて、綺麗な花を咲かせるのが特徴だとか。そんなきれいなカキツバタの中に、何羽かシラサギも見られました。来年も変わらずきれいなカキツバタが見られるといいですね。

## 刈谷のグルメが大集合！

歴史博物館北側駐車場(5月25日～31日)



新型コロナウイルスの影響で、売上げが落ち込んだ市内の飲食店を応援することを目的に、KARIYA eatsが行われました。市商店街連盟に加盟する事業者のうち16店舗が出店。400円、700円、1,000円の多種多様な刈谷のグルメをドライブスルー方式で販売しました。

イベント期間中は毎日、開始前からたくさんの車が並び、連日來場台数が100台を超えるなど大盛況でした。

## ホームゲームを心待ちに…

総合運動公園(5月30日～31日)



市ホームタウンパートナーチーム豊田自動織機シャトルズの選手・スタッフが、総合運動公園やウェーブスタジアム刈谷などの清掃・消毒活動を行いました。地域の皆さんとも触れ合いながら汗を流す選手たち。新型コロナウイルス感染症は収束していませんが、ウェーブスタジアム刈谷を満席にしてホームゲームが行われる日を心待ちに、地域貢献活動や練習を続けています。